

関連項目：教育活動プラン⑥

機会を捉えて自尊感情を高めることにつながる生徒指導

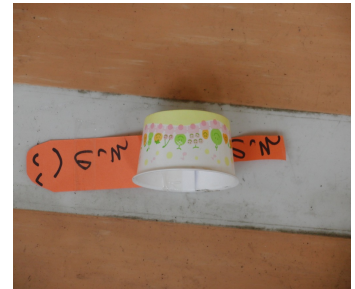
目的

香川県学習状況調査の質問紙の結果では、本校の児童は、全県の平均に比べて、学年により規則の遵守や自分からのあいさつができない、自己有用感の低い児童の割合がやや多いという結果でした。そこで、「子どもが動く学校」づくりを合い言葉に、学校行事や児童会活動など様々な教育活動の中で、機会を捉え、自浄作用を促したり自尊感情を高めたりできるような活動をすることにしました。

内容

● 全校朝会の話から廊下歩行へ

6月の全校朝会での校長の「あじさいとかたつむり」の話→ 1年生のクラスが給食のデザートのカップでかたつむりを作成→ 校長室清掃当番の6年生のアイデア「廊下の真ん中に置こう」→ 楽しい生活委員会が、廊下の正しい歩き方の手本をかたつむりを使って示す（みんなのつどい）→ 各クラスでかたつむりの作成をしてクラスの前に置く→ かたつむりをみながら右側をゆっくり歩くようにする。



上記の流れで全校生に右側をゆっくり歩くということが意識づけられました。

<クラスの前に置いたかたつむり>

● 交通安全教室の話から全校生クイズへ

8月の交通安全教室に参加した児童の学びを、全校生に知らせるためにどうするかを考えました。みんなに分かりやすく伝えるためにクイズ形式にしたいという希望をもちました。一人では難しいので同じ6年生に呼びかけ、有志による交通安全クイズ（下学年用・上学年用）を作りました。リハーサルをして全校朝会で報告、発表しました。興味をもってクイズに答えることにより、自転車の乗り方や飛び出しの危険性について理解できました。

● 代表委員会の議題からなかよし班のあいさつ運動へ

第3回代表委員会の議題「仏生山小学校をよりよくしていこう」で仏生山小学校がよりよくなるキーワード「あいさつ」「なかよし」「体力」「きれい」「安全」「楽しい企画」ができました。その後、それぞれのキーワードについて問題点と改善点を話し合いました。参加していた各クラスの学級委員が、各クラスに改善点を伝えました。その中で「あいさつ」については、あいさつ運動を盛り上げるために、なかよし班（異学年で構成された6～7人グループ）で取り組みたいという意見に賛同が多く、6月から11月まで1班から順番に取り組むことができました。その後も学級単位で一週間ごとにあいさつ運動がひきつがれています。



<自主的に取り組むあいさつ運動>

成果

こうした取り組みをする中で廊下の歩行の仕方やあいさつの仕方がよくなりました。飛び出しや自転車による交通事故も0です。10月に行われたちきりっ子アンケートでは、5月に比べて学校の決まりを守っている児童が中学年で大幅に増えました。あいさつをきちんとする児童や進んで自分の仕事をしていると答えた児童も若干増えました。自分たちの学校を自分たちでよくしようという意欲が育ち、代表委員会での活発な意見交換や廊下歩行免許証の自主的な作成等により自己有用感が高まっていると思います。